



衆議院議員（福岡 10 区選出）

| 2023.12 きいたかしレポート |

きいたかし

〒802-0071 北九州市小倉北区東篠崎 1-4-1-201 TEL.093-941-7767 FAX.093-941-5535
（ウェブサイト）http://www.kiitaka.net （メールアドレス）smile@kiitaka.net

👉 臨時国会を終えて 地元北九州市を代表して党政調会長代理、党広報本副本部長、国土交通委員会委員、憲法審査会委員として活動

カネで動かす政治をやめよう



皆さん、こんにちは。
衆議院議員のきいたかしです。

12月13日で第212回臨時国会が閉会となりました。この国会は「物価高対策の速やかな具体化」が最優先事項と考え、党政調会長代理として「困った方への直接支援」などが柱の立憲民主党の緊急経済対策の取りまとめなどに先頭に立って取り組みました。また国会では国土交通委員会で、地域の移動の確保のためのタクシーの規制改革の促進、ビッグモーター問題で揺らいだ車検制度の信頼回復と自動車整備業の風評被害防止などを国土交通大臣に直接質しました。

今国会での立憲民主党の内閣提出法案等への賛否結果については、内閣提出法案への賛成率が73.3%。議員立法については8本提出、うち2本が委員長提案で成立しました。旧統一教会の被害者救済特例法には私達が議員立法で求めた包括的な財産保全が盛り込まれませんでした。検討条項として3年以内に速やかに検討するとの国会答弁を得たことで与党等の修正案に賛成することとしました。特別職給与法改正案、いわゆる総理賃上げ法案には、大臣や国会議員など政治家由来の役職の賃上げをやらぬ修正案を私達から示しましたが与党の反対で実現しませんでした。上がった国会議

員ボーナスは立憲民主党を通じて内外の慈善団体に寄付しました。

一方で岸田政権は物価高に国民が苦しむ中で防衛増税、異次元の少子化対策での負担増、選挙対策の所得減税を打ち出しました。給付金を年内に届けられないなど物価高対策が後手に回った上、国民にとっては増税が透けて見える減税には飛びつきません。そもそもコロナ禍でルーズになった税金や保険料の使い道を洗い直す方が先です。補正予算にも明らかに緊要性を欠く内容が含まれました。所得税を見直すにしても応能負担を踏まえた税制全体の公平な見直しが必須です。

マイナ保険証は他人の情報の紐づけや医療情報の漏洩、請求の誤りなどトラブルが相次ぎました。現在の利用率は国民全体の5%未満です。来秋の廃止方針の撤回・延期を求める声は7割を超えていますが岸田総理は来秋廃止を改めて表明しました。仕組みの安心が整うまで現在の保険証を存続すべきです。

さらに終盤に対応を追われたのは自民党派閥の裏金疑惑でした。本当なら政治資金規正法違反や脱税といった違法行為です。年末年始にかけて検察の捜査が本格化します。これまでのうみを出し切り、カネで動かす政治はもうやめさせたいと思います。

北九州市と国の連携については12月から北九州空港の滑走路延長工事が始まるなど、着実に前進しています。引き続き地元代議士として地元北九州市の発展へ後押しします。

ウクライナや中東、東アジアの情勢もあり落ち着いた年となりましたが、新しき年こそ暮らしに希望を見いだせる年となるよう政治の改革に邁進します。引き続き応援よろしくお願いします。

衆議院議員 きいたかし

👉 きいたかし 党政務調査会長代理として取りまとめました | 2023.12 きいたかしレポート |

物価高を克服するための緊急経済対策

きいたかしが中心となって、年度内・当面6か月間を対象とする、「物価高を克服するための緊急経済対策」を取りまとめ、発表しました。

15兆円、20兆円といった予算規模ありきのバラマキは、インフレを助長しさらなる物価高を招くため、真に必要で効果的な対策に絞りました。

業界大手への補助金中心では中抜き懸念がぬぐえず、国民に支援の実感も薄いことから、個人や事業者へ直接届く支援を中心にした対策を提起しました。

また、中長期的な社会経済構造の転換にもつながる有用な対策を提案しています。政府の取り組み不十分な省エネ・再エネ活用へ大胆投資、子ども子育て支援や賃上げ支援の政策も、来年度以降の恒久的実施につなげるよう緊急前倒しを求めています。

所得税などの減税は、法改正など準備に時間がかかり、すぐに実感ある支援につながらないとの判断から、年度末までの緊急支援には物価高分を補う3万円のインフレ手当てなど、速やかな直接給付で対応すべきと提案しています。

地元北九州市の発展のきっかけづくりをリード

地元北九州の皆様のご意見や、働く現場の皆様の声をもとに、内閣総理大臣に文書で直接質問する仕組みである質問主意書によって、政府の見解を質しました。引き続き、地元北九州市の発展のきっかけづくりに全力で取り組みます。

北九州市民の要望に沿った確実な取り組みを内閣総理大臣に求めました

- 1) 北九州空港の三千メートル滑走路の早期供用に関する質問主意書
- 2) 北九州空港の機能強化及び利用促進に関する質問主意書
- 3) 北九州市における洋上風力発電関連産業を基盤とするエネルギー産業の総合拠点化に関する質問主意書
- 4) 北九州港及び関門航路の整備推進に関する質問主意書
- 5) 首都圏に集中する企業等の地方移転の推進に関する質問主意書
- 6) 保育料の第二子以降完全無償化等に対する支援に関する質問主意書
- 7) 母子健康手帳、母子健康情報等のデジタル化に関する質問主意書
- 8) 特別支援教育の振興に関する質問主意書
- 9) 脱炭素社会実現に向けた水素拠点形成及びサプライチェーン構築の支援に関する質問主意書
- 10) 地方交付税の必要額の確保と適切な算定に関する質問主意書



衆議院議員 **きいたかし**（城井 崇）のプロフィール

地元北九州で東奔西走。3子のパパとしても子育て奮闘中。

1973年(昭和48年)北九州市門司区生まれ。田野浦小、早鞆中、門司高、北九州予備校(2浪)、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、03年衆院選で初当選。09、17、21年衆院選で当選(現在4期目)。文部科学大臣政務官、予算委理事、国土交通委理事、文部科学委理事等を歴任。現在、衆議院国土交通委員会委員、憲法審査会委員、党政務調査会長代理、広報本副本部長、子ども・若者応援本副本部長、政策課題発掘チームリーダー、福岡県連代表、福岡県第10区総支部長。得意分野:教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物:ラーメン、焼肉、焼きカレー。

